有限会社輿水酒店

静岡県三島市

http://www.koshimizu-s.com/



店舗概要

創業年 1965年(昭和40年)

売場面積 89.8 ㎡(27.2 坪)

従業員 3.5人

営業時間 9:00~19:00

定休日 水曜日

商品構成

• 酒類 90.0%

・食料、飲料その他 10.0%

経営方針

・誠実にコツコツ努力する

輿水サロンとオリジナルギフトで「輿水酒店」をブランド化

[ギフト需要を集めるオリジナル木箱とオリジナル酒]

三島という限られた商圏では売上高を伸ばすことに限界がある。当店が力を入れているのがギフト需要の開拓である。特に話題となっているのが「メッセージ BOX」である。好みの酒をメッセージ付きの木箱に入れて贈る。酒代プラス 4,000 円であるが、メッセージは専用の機械で木箱に焼きつけるので、色あせすることがなく、長く飾っておくことができる。定型文だけでなくお客様の要望に応じたオリジナル文言を焼きつけることもできる。贈る相手の名前を加えた「ネームインポエム」5,000 円も提供している。

地元静岡県の蔵元に協力を求め、日本酒・焼酎・梅酒では当店オリジナル酒を商品化している。「三島の宿」は定番商品に育っており、ギフトやお土産に利用されている。酒以外にも、当店のオリジナルロゴ入りでキーホルダー・マグネット・マイバッグ等を製作販売や、めずらしいおつまみ類も扱っている。

[「輿水酒店」ファンが集まる輿水サロンで開く試飲会とイベント]

現代表者は1998年に勤務していた地元の信用金庫を辞めて、跡継ぎとして店に入った。そこ

で感じ取ったのは「特徴がない酒屋は今後潰れていく」という危機感であった。日本名門酒会に加盟して品揃えを強化する一方で、2002年には店を改装し、店舗奥の4畳ほどスペースにテーブルと椅子を置いて「輿水サロン」を開設した。清酒やワインの試飲会を年10回程度開催し、店を支えてくれている地元のお客様に集まっていただいている。清酒であれば「初しぼり・あらしぼり」、ワインであれば「アルザスやピノ・ノワール」等、季節に応じてテーマを設定し、その季節にしか味わうことができない酒を提供している。試飲会では6種程度のお酒と簡単なつまみを出しており、試飲会の運営は赤字である。しかし、開催後の購入に直結するので開催の効果は大きい。輿水サロンでは試飲会以外にも、ソムリエや SAKEDIPLOMA の資格を持つ代表者講師を行うセミナーや「葉書の会」、地域の寄り合い等に利用している。イベントがないときは、お客様やスタッフの休憩所にもなっている。

[ポイントカード会員に向けた「こしみず通信」と手書きのはがき]

売上に応じてポイントを進呈する満点タイプのポイントカードを導入しており、カード発行時にお客様の住所氏名を登録する会員制としている。この会員名簿を活用して販促効果を発揮しているのが「こしみず通信」と「手書きのはがき」である。「こしみず通信」は年5回程発刊であり、時節の話題と今月のおすすめ商品、そしてイベントの紹介等を掲載している。ホームページでも確認できるが会員には郵送する。集客に大きく貢献しているのが「手書きのはがき」である。季節の話題や時事の出来事、商品の紹介等内容は様々であるが、商売気を出さないように留意している。宛名書きと文章の書き込みで1枚に20分程をかけている。特に力を入れているのがエイプリルフールの葉書である。「宇宙旅行に行った」「ドラマの主人公になった」等、全くの嘘であることを分かるような葉書を毎年送っている。作成した葉書は数千枚に達している。

当店が情報発信で特に注力しているのがブログである。「輿水のブログ」としてホームページ から入ることが出来る。話題は様々であるが9年間毎日更新を続けている。



メッセージを焼きつけるギフト用木箱



エイプリルフールのユーモアはがき